

コード No. 18584

**Anti-Human
Amyloid β (N) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 μ g

- はじめに : アルツハイマー病は 1907 年ドイツの神経病理学者 A. Alzheimer によって最初に報告され、現在では老人性認知症の最も大きな原因となっています。アルツハイマー病の脳に多く現れる老人斑はアミロイドベータ(A β)タンパク質によって構成されています。A β は 40~43 アミノ酸からなるペプチドで、 β -および γ -セクレターゼの働きにより、前駆体タンパク質 APP(695, 751 または 770 アミノ酸からなる膜タンパク質)から切り出されてくると言われています。
- 免疫抗原 : Human Amyloid β の N 端部分合成ペプチド
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA、0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 μ g/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
: 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 1~5 μ g/mL にて使用可能
(ホルマリン固定 パラフィン包埋切片、ギ酸処理*)
*ギ酸処理によって染色性が著しく向上します。
病変の進行したアルツハイマー病の老人斑では、本抗体の染色性が低下する事があります。
*ギ酸処理方法 : 脱パラフィン後ギ酸に 5 分間浸漬した後、流水洗浄
- : ウエスタンブロッティング 5 μ g/mL にて使用可能
- 特異性 : Human Amyloid β (1-40), (1-42), (1-43) 全てと反応

コード No. 18584

**Anti-Human
Amyloid β (N) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 10 μ g

- はじめに : アルツハイマー病は 1907 年ドイツの神経病理学者 A. Alzheimer によって最初に報告され、現在では老人性認知症の最も大きな原因となっています。アルツハイマー病の脳に多く現れる老人斑はアミロイドベータ(A β)タンパク質によって構成されています。A β は 40~43 アミノ酸からなるペプチドで、 β -および γ -セクレターゼの働きにより、前駆体タンパク質 APP(695, 751 または 770 アミノ酸からなる膜タンパク質)から切り出されてくると言われています。
- 免疫抗原 : Human Amyloid β の N 端部分合成ペプチド
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1 % BSA、0.05 % NaN₃ 含有 PBS 0.1 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 0.1 mL 添加(この時濃度は 100 μ g/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
: 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 1~5 μ g/mL にて使用可能
(ホルマリン固定・パラフィン包埋切片 : ギ酸処理*)
*ギ酸処理によって染色性が著しく向上します。
病変の進行したアルツハイマー病の老人斑では、本抗体の染色性が低下する事があります。
*ギ酸処理方法 : 脱パラフィン後ギ酸に 5 分間浸漬した後、流水洗浄
- : ウェスタンブロッティング 5 μ g/mL にて使用可能
- 特異性 : Human Amyloid β (1-40), (1-42), (1-43) 全てと反応